

補助犬フレンドリーキャンパスを目指して



九州大学では、補助犬と補助犬ユーザーが生活しやすいキャンパス作りをするともに、ユーザー側だけでなく九大構成員が正しい知識と親しみを持って関われるキャンパス(補助犬フレンドリーキャンパス)を目指しています。

補助犬って何？

補助犬とは、目や耳、手足に障害のある方をサポートする犬のことで、障害のある方が自立と社会参加をするための大切なパートナーです。

○盲導犬

歩行をサポートします。

障害物を避けるよ

曲がり角や段差を教えるよ

○聴導犬

音を知らせます。

音を聞き分けて知らせるよ

○介助犬

日常生活動作をサポートします。

指示されたものを持ってくるよ

脱衣の介助をするよ

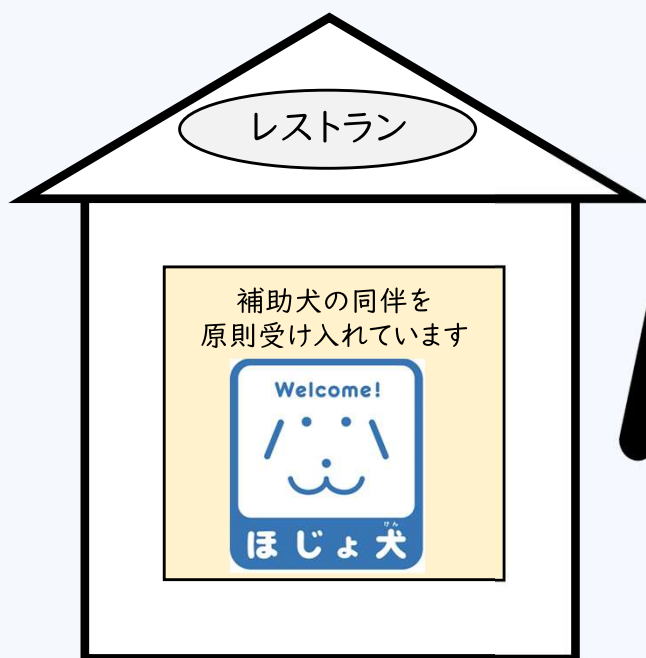


※補助犬以外に、セラピードッグ(障害者や心に傷を負った人たちに寄り添う)等もいます

どんな法律があるんだろう？

補助犬に関する法律は「身体障害者補助犬法」と「障害者差別解消法」があります。

「身体障害者補助犬法」では、使用者は補助犬であることを表示すること、使用者は補助犬の行動を適切に管理し身体を清潔に保つこと、補助犬は訓練を受けること、受け入れ機関は補助犬の同伴を拒まないことが義務付けられています。障害者差別解消法では、不当な差別的取り扱いは禁止されています。

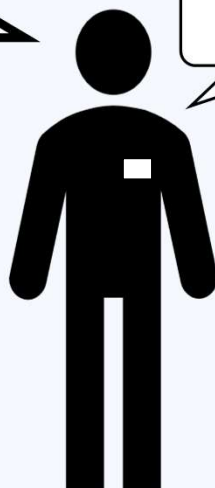


補助犬の身体を清潔に保っています

「盲導犬」と表示しています

中へどうぞ差別はしません

訓練を受けたよ



補助犬との関わり方6か条

ルールを守って
安全に!



①触らない



②見つめない



③食べ物を
見せない・与えない



④大声を出さない



⑤写真を撮らない



⑥SNSにアップしない

どうして?

- ①②③④…補助犬がびっくりして事故の原因になります。
情報源となる音を聞き逃したり、危険だと勘違いしてしまうことがあります。
- ⑤⑥……プライバシー保護のためです。

Q&A

Q.犬アレルギーです。どうしたらいいですか?

A.事前にお伝えしていただければ、席を遠くするなど配慮をすることができます。犬が苦手な方も遠慮せずにその旨をお伝えください。
配慮例:席を遠くする、教室内に補助犬がいることを教室前に掲示する、補助犬との動線を分けるなどが考えられます。

Q.ユーザーの方が困っています。声かけていいですか?

A.はい。視覚障害者の場合は、いきなり肩や腕に触るのではなく、声をかけるところからお願いします。聴覚障害者の場合は、視界に入り、筆談や手話などを用いて話してください。

Q.学食に補助犬がいます。衛生的に大丈夫ですか?

A.衛生面に関しては問題はありません。補助犬ユーザーは補助犬の行動を適切に管理し、身体を清潔に保つ義務があります。
ワクチン接種、健康管理、行動管理がしっかりとされています。

Q.エサをあげたり、触ったりしてもいいですか?

A.補助犬は仕事なのでやめてください。補助犬の集中を妨げる行為はユーザーを危険にさらすためしないでください。セラピードッグであればユーザーの同意を得たうえで触れ合うことができます。

お問い合わせは下記にお願いします。

連絡先・相談先

インクルージョン支援推進室

TEL/FAX:092-802-5859

E-mail:inclusion@chc.kyushu-u.ac.jp

九州大学アクセシビリティ・ピアサポーター 補助犬フレンドリーキャンパス班作成

参考・引用

・日本盲導犬協会
<https://www.moudouken.net/knowledge/howtohelp.php>
・厚生労働省 身体障害者補助犬
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/hojoken/index.html
・内閣府 障害者差別解消法リーフレット
https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki_hairyo/print.pdf
・神戸女子大学
<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/wu/news-events/2019/course/f-health/social-welfare/news/190405.html>
・全国生活衛生営業指導センター
<https://www.seiei.or.jp/db-pdf/hojyoken01.pdf>